

1. 計画平面図 (敷地内レイアウト)

- ・本建物は、総合病院や図書館に近接する幹線道路(県道12号線)に面して配置し、地域からのアクセス性と視認性を高める計画とする。
- ・駐車場は交通量が比較的小さい北側に配置し、出入口は北側とすることで、歩車分離を図り、安全で円滑な動線計画とする。
- ・西側および南側の道路に面して建物を配置し、周辺市街地に対して開かれた外構計画とすることで、来訪者が自然に立ち寄れる公共空間を創出する。
- ・敷地は野々江総合公園の一角に位置することから、公園機能との一体性及び連続性を重視し、西側及び南側にはゆとりある歩行者空間を確保する。
あわせて、総合病院から続く並木道を敷地内へと引き込み、地域の回遊性向上と景観形成に寄与する計画とする。
- ・建物周囲(西面、南面)にはコロネードを設け、雨天時においても安全かつ快適に移動できる歩行空間を確保する。

主要出入口に近接した位置に支えあい駐車場を配置することで、高齢者や身体の不自由な利用者、子ども連れ利用者の負担を軽減している。建物へのアプローチ距離を最小限に抑え、誰もが利用しやすいユニバーサルな配置計画とする。

総合病院から連続する既存の並木道を敷地内へと引き込み、緑に包まれたプロムナードテラスとして整備する計画とする。並木道のもつ景観的な連続性や親しみやすいスケール感を継承しながら、歩行・滞留・回遊が可能な公共性の高い空間を構成することで、周辺公共施設や公園と一体となった外部環境の形成を図る。

建物の南側および西側にコロネードを連続的に設けることで、雨天時においても濡れることなく安全かつ快適に移動できる歩行空間を確保する。来訪者の滞留や回遊を促し、子ども連れ利用者にもやさしい環境を形成する。

出入口には段差のない風除室を設け、ベビーカーや車いすでもスムーズに利用できる計画とする。外部と内部の環境差を緩和しつつ、誰もが安心して出入りできるユニバーサルデザインを実現する。

駐車場は交通量の比較的小さい北側に集約し、歩行者動線と明確に分離することで安全性を高めている。車両動線と人の動線が交錯しにくい計画とすることで、子供が多く利用する施設にふさわしい安心感のある外構計画とする。あわせて、健民体育館および市立図書館の駐車場との連携利用を想定し、施設単体に過度な駐車施設を設けることなく、周辺公共施設と一体となった効率的かつ実用的な駐車計画とする。

屋外機械置場は植栽で囲うことで、設備機器の存在感を抑え、周辺景観への影響を配慮する。

周辺敷地には総合病院、市立図書館、健民体育館等の公共施設が立地しており、比較的低層で開放的な景観が形成されている。これら周辺環境との調和を図るため、本建物は地上平屋建てとし、周辺景観への圧迫感を抑えた落ち着いた立ちまわりの立面計画とする。

サービス用出入口を利用者動線と明確に分離して設けることで、施設運営上の効率性と安全性を両立する。管理者動線が利用者空間に干渉しない計画とすることで、快適で落ち着いた利用環境を確保する。

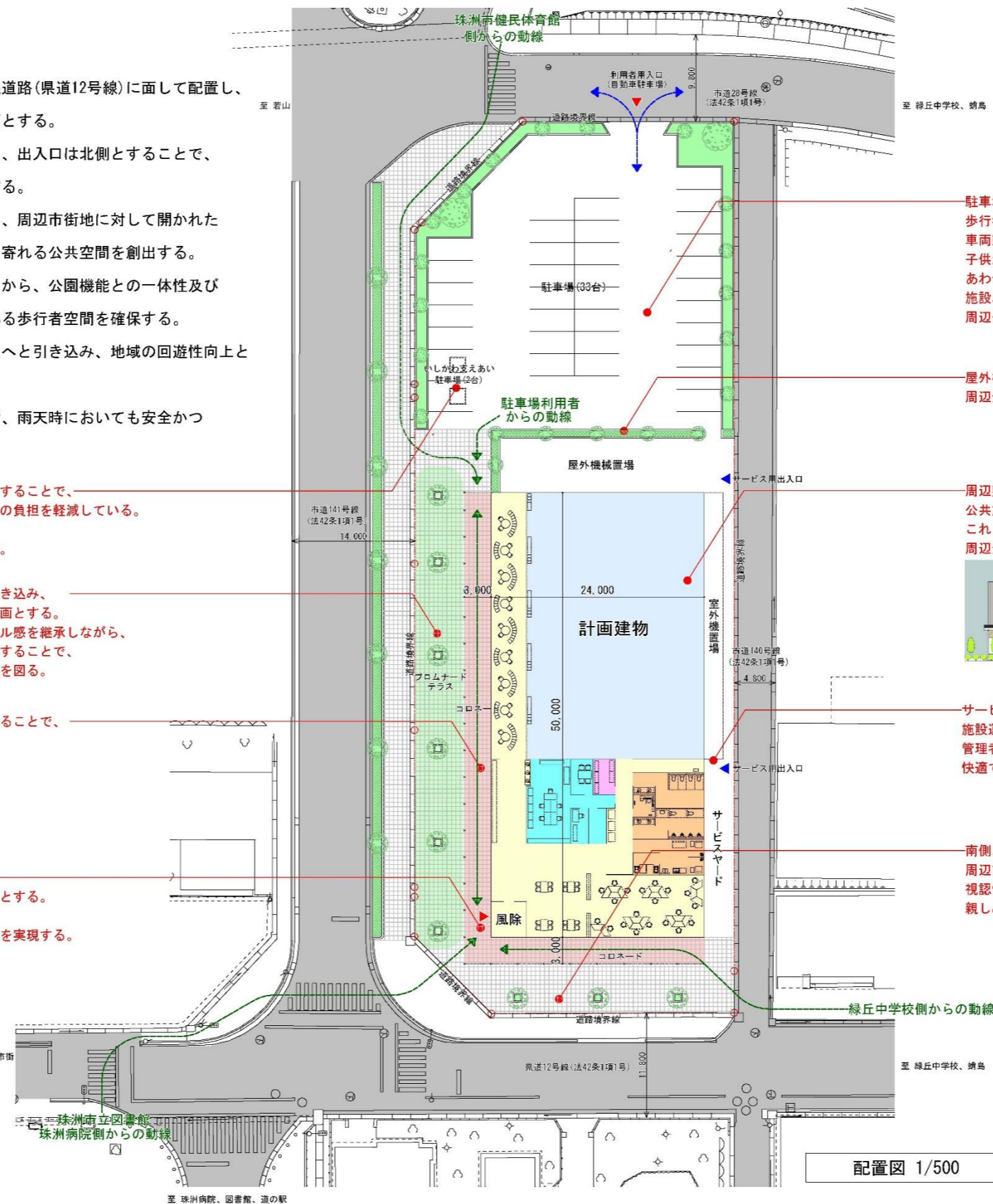
南側および西側の道路に対して建物を開く配置とすることで、周辺市街地や公園と連続した、開かれた公共空間を形成する。視認性とアクセス性を高め、地域の人々が自然に立ち寄りやすい、親しみのある施設配置とする。



- ゾーニング色分け
- 遊び場空間 (20m×30m)
 - 共用部分(ホール・ロビー、ワークスタジオ)
 - 共用部分(WC等)
 - 管理部分(事務所等)
 - 備蓄倉庫
 - 施設利用者の動線を示す

敷地面積	≒3,498.77m ² (CAD求積)
建築面積	1,384.00m ²
延べ床面積	1,200.00m ²
階数	地上平屋建て

※建築面積はコア部分を含む面積



配置図 1/500